

系別：亞洲研究所(日本研究組)

科目：時事日文

本試題共 2 頁， 4 大題

日文譯中文 (每題各 25%)

一、

世界最大の排出国である米国は、経済への悪影響を懸念し、2001年に議定書から離脱した。米国を抜き、世界一の排出国になったとされる中国や排出量5位のインドは、途上国として、削減義務を免除されている。京都議定書で削減義務を負っている国の総排出量は、全世界の3割でしかない。現状では、京都議定書以外に、温暖化対策の国際的なルールはないが、大きな欠陥を有しているのも明らかだ。まず重要なのは、米国や中国など、すべての主要排出国が参加する枠組みにすることだ。京都議定書は、主に先進国に削減義務を課したが、新たな枠組みでは、途上国も、応分の責任を負うことが必要である。次に、どのように排出量削減を進めるのか、具体的なルールを決めなくてはならない。京都議定書と同様に、国ごとに削減目標を設けて達成を義務付けるのか、あるいは別の手法にするのか。

日本は今年から2年間、10回目の国連安全保障理事会の非常任理事国を務める。能動的な外交を具体化する大事な足場となる。中東など世界各地の紛争解決や平和維持に積極的に関与する必要がある。長年の課題である日本の常任理事国入りを視野に入れた安保理改革にも取り組みたい。そのためには、自衛隊の国際平和協力活動を質、量ともに拡充することが欠かせない。12年連続で減少している政府開発援助(ODA)予算も、増加に転じさせるべき時だろう。

二、

超大国へとひた走る中国にとって、2008年は様々な面で「光」と「影」が交錯する年となるだろう。8月には北京五輪が開催される。市場経済化を進める改革・開放政策の導入から30年。北京五輪は、この間の国力伸長を内外に誇示する絶好の舞台となる。一方で、急激な膨張は、中国

本試題雙面印刷

系別：亞洲研究所(日本研究組)

科目：時事日文

本試題共 2 頁，4 大題

内外に深刻な問題をもたらしている。国内では格差拡大や汚職のまん延、底なしの環境汚染など、社会不安の種は尽きない。環境汚染は、国内から日本など周辺国へと広がり、「越境汚染」の様相を呈している。人権問題など意に介さない露骨な資源外交も非難的だ。「中国は国力に見合った責任を果たしているのか」との国際社会の不信は募る一方だ。

経済と並び、軍事、外交の両面でも、中国パワーが国際政治の構図を変えようとしている。軍事費は、公表分だけでも19年連続2けたの伸びで増え続け、近年、装備増強が急速に進んだ。米国防総省の年次報告は、「中国と台湾の軍事バランスは、中国優位に傾いている」と指摘する。胡政権は昨年、軍首脳人事で、対台湾作戦関連ポストを経験した將軍を大挙、登用した。装備の増強や人事の主眼は、独立志向を強める台湾けん制にあるとされてきた。海軍は、外洋展開力の充実に努めている。軍内では空母保有論が公然と語られ始めた。ミサイルの増強や空軍力の強化も著しい。米国を中心に、「中国の軍拡の規模は対台湾作戦の想定を超える」として、軍事力強化の意図に対する警戒論が渦巻いている。

中国は昨年1月、ミサイルによる衛星破壊実験を行い、国際批判を浴びた。2004年11月の中国原潜による日本領海侵犯事件でも、同様の見方がされた。こうした事例が、国際社会に不安を抱かせている。経済、政治、軍事など、あらゆる分野での中国の膨張が、地域や国際社会の大きな不安定要因となっている。「中国問題」は、ますます国際社会全体の中心的な課題となっていくだろう。

試以中文解釋 或申論下列名詞所代表的意義 (每題各 25%)

一、拉致問題と日朝関係

二、北方領土問題と日ロ関係